

年中児保育案

ほし組 男児17名 女児17名 計34名
保育者 梁瀬 加那子 坂元 久美子

1 幼児の実態

子どもたちは、意欲的に登園し、幼稚園生活に期待をもって毎日過ごしている。友だちとのかわりが広がり、気の合う友だちはもちろん、同じ遊びに興味をもつ友だちとも仲間になって、これまでよりも長い時間、楽しく一緒に遊ぶようになってきた。遊ぶ中で、意見が食い違うこともあるが、自分なりの言葉で相手に思いを話したり、友だちの思いを聞いたりしながら、自分たちで解決する姿も見られる。

園庭では、冬の寒さを肌で感じながらも元気に体を動かして遊ぶ子どもが多く見られる。長縄や短縄を使って遊び、体が温くなる心地よさや、繰り返して挑戦しながら以前よりも上手になった喜びを感じているようだ。また、かくれんぼや鬼ごっこを通して、友だちや年長児、保育者とルールのある遊びの面白さも味わっている。砂と水を使った遊びも楽しんでおり、料理をつくり、保育者や友だちを客として招いて、自分たちがつくった料理のイメージを伝えている。育てているチューリップやカブの成長にも興味をもち、水を掛けながら、「大きくなってきたよ」「〇〇くんのが大きいよ」など、発見したことを保育者や友だちに伝える姿が見られる。冬ならではの自然にも興味をもち、冷たい空気や風を感じたり、霜柱や氷を見つけて驚いたりしている。

室内やプレイルームでは、空き箱やロールペーパー芯を使った製作を楽しみ、自分のイメージをもちながら素材を組み合わせて、遊びに使う道具をつくっている。ごっこ遊びでは、友だちと話し合って役割を決め、自分たちの描いているイメージを伝え合いながら、役になりきって遊ぶ楽しさを味わっている。大型積み木で船や家をつくり、自分でつくったものを持ち込んで友だちと一緒に遊ぶ姿も見られる。

このように、園生活が充実し、友だちとかかわる楽しさを存分に味わいながら、自分たちで遊びを進めている子どもたちである。

2 遊びの価値とねらい

子どもたちは、自分たちで遊びを見付け、友だちとかかわることを存分に楽しんでいる。

そこで、かくれんぼや鬼ごっこなどのルールのある遊びを通して、ルールを互いに理解し合うと もっと遊びが楽しくなるということを味わえるようにしたい。「ぼくは、鬼になりたい」「次は、わたしが鬼になるよ」など、遊びを通して自分の思いを伝えたり、友だちの思いを知ったりすることもできるだろう。様々な友だちと一緒に、同じルールの中で楽しむことができる遊びであるとともに、寒い中でも体を動かす心地よさを味わえる遊びとして大切にしたい。

また、室内でのごっこ遊びを楽しみながら、自分と友だちのもつイメージを伝え合い、遊びをもっと楽しもうとする姿を大切にしたい。役になりきり、友だちと同じイメージの中で遊ぶことは、友だちとかかわる楽しさを存分に味わえるとともに、自分の思いを話す楽しさやそれぞれのイメージに興味をもって聞くことの面白さも感じることもできるだろう。

こうした遊びは、ますます友だちとかかわる楽しさを味わうことができ、友だちとのつながりを深め、自分たちで生活や遊びをつくる充実感へとつながっていくものであると考える。

3 この期の保育について

(1) ねらい

- 友だちと考えを出し合いながら、楽しく遊ぼうとする。
- 戸外で元気に遊びながら、自然の移り変わりを感じる。

(2) 内容

- 友だちとイメージを伝え合いながら遊ぼうとする。
- 簡単な役割分担をしながら、ごっこ遊びを楽しむ。
- いろいろな素材や用具を使い、遊びに必要なものをつくって遊ぶ。
- 氷や霜柱などに興味をもち、触れたり、集めたりして遊ぶ。
- 冬の健康な生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。

4 本日の保育について

(1) ねらい

- 友だちと一緒に遊ぶ楽しさを存分に味わう。
- 戸外で元気に体を動かして遊ぶ。

(2) 内容

- 友だちに自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりしながら一緒に遊ぶ。
- 役割分担をしながら、ルールのある遊びやごっこ遊びを楽しむ。
- 身近な素材を使って自分のイメージしているものをつくって遊ぶ。
- 縄跳びや鬼ごっこなど、戸外で友だちと一緒に体を動かして遊ぶ。
- 手洗い・うがいや衣服の調整などを進んで行おうとする。

(3) 保育に当たって

ア 人とのかかわり

- 友だちと一緒に思いを出し合いながら遊びを楽しむ姿を見守り、保育者も一緒に仲間になって遊びたい。自分なりの言葉で話そうとする姿を認め、必要に応じて、周りの友だちも興味をもって話を聞くことができるように言葉掛けする。
- 降園時の活動では、みんなで一緒に歌を歌ったり、絵本を見たり、友だちや保育者の話を聞いたりしながら、みんなで集まる楽しさを味わいたい。
- 自分のことを自分でしようとする姿を見守りながら、風邪をひかずに元気に過ごすために大切なこと（手洗い・うがいなど）を一緒に考えるようにする。

イ ものとのかかわり

- 必要な素材や用具などを子どもたちが使いやすい場所に用意しておき、自分のつくりたいものを自由につくることができるように環境を整えておく。
- 自分なりのイメージをもって遊ぶ姿や役になりきって楽しむ姿を大切にし、様々なごっこ遊びがさらに広がっていくように、必要なものなどについて子どもたちと一緒に話し合っていくようにする。
- 長縄跳びでは、以前よりも上手になった喜びを受け止めながら、繰り返し挑戦したり、友だちと励まし合ったりする姿を大切にしたい。

ウ 自然とのかかわり

- 吐く息の白さや互いの手の冷たさ、寒い中でも体を動かすと温くなる心地よさなど一緒に冬の季節を味わうようにする。
- チューリップやカブの成長など、様々な発見を楽しむ子どもたちの喜びに共感し、自然の不思議さに気付く姿を大切にしたい。
- 金魚やウサギに餌をあげたり、冬の生き物の過ごし方に興味をもったりする姿を大切にしたい。機会をとらえて、小さな生き物にも生命があることを伝え、大切にしていこうとする気持ちをはぐくんでいきたい。